

令和5年度いじめ防止の取組① 全校集会



いじめ防止アイデア募集

全校集会では、学校のいじめ等の相談窓口として情報集約担当者の周知、「いじめ防止のアイデア」募集、気持ちについて考える絵本の読み聞かせなどを行いました。

みんなが楽しく安心して学校生活を送れるようにと、児童生徒会（全校児童生徒）一人一人が考えたいじめ防止のアイデアが集まりました。

いじめ防止のアイデアからできた「かもいな いじめ防止スローガン」は、毎日の朝の会、帰りの会、LHRで確認しました。



絵本の読み聞かせ

令和5年度 いじめ防止スローガン(小・中学部)

- かなしいおもいは ともだちに させない!
- もっと じぶんの きもちを つたえる!
- いやなこと こまったことは すぐそうだん!
- なかよく あそぼう ともだちと!



いじめ防止スローガンの発表

令和5年度 いじめ防止スローガン(高等部)

- かがやく笑顔と思いやり。優しい心を忘れずに!
- モヤモヤしたら1人で悩まず家族や友だち、先生に相談しよう!
- いじめをなくすために友だちと仲良くおしゃべりしよう!
- 仲間と協力! みんなで作ろう楽しい学校!

小・中学部、高等部それぞれの実態に応じた、「かもいな いじめ防止スローガン」ができました。

令和5年度いじめ防止の取組② 自殺予防の取組

子どものサイン発見チェックリスト(家庭用)

このチェックリストは、御家庭で子どもの小さなサインの発見に活用していただくために作成したものです。

以下の項目を参考に、お子さまの様子を観察してみてください。当てはまる項目があり、それが変更なるようでしたら、学校までこのチェックリストを御提出いただくか、御相談をお願いします。

項	目	チェック欄
1.	表情が暗くなり、言葉数が少なくなった。	
2.	学校のことをあまり話さなくなった。	
3.	朝から体の不調を訴え、登校をしづらくなった。	
4.	感情の起伏が激しくなり、親や兄弟姉妹に反抗したり、八つ当たりしたりするようになった。	
5.	すり傷やあざ等を随うようになった。(風呂に入ることや裸になることを嫌がる、自分でけがをしたと言う。)	
6.	家族と過ごすことを避け、部屋に一人であることが多くなった。	
7.	友だちからの電話やメール等の連絡に、暗い表情が見られるようになった。	
8.	学用品や私物がなくなったり、壊れていたりすることが増えた。	
9.	教科書やノートに落書きをされたり、破られたりするようになった。	
10.	衣類が破れたり、汚れたりしていることが増えた。	
11.	以前に比べると食欲がなくなった。	
12.	最近、寝付きが悪かったり、夜中に何度も目を覚ましたりすることがある。	
13.	以前に比べると言葉遣いが乱暴になった。	
14.	家から品物やお金を持ち出したり、金品を要求したりするようになった。	
15.	不審な電話や権がらせの手紙が来るようになった。	
16.	友だちからの電話やメール等の連絡で、急に外出することが増えた。	
17.	携帯電話やスマートフォンのメールやライン等を頻りに気にするようになった。	
18.	例に對しても投げやりで集中力が続かないようになった。	
19.	「引越したい」「転校したい」と言うようになった。	
20.	友だちへの口調が命令口調になっている。	
21.	家で買えぬ物ではない物を持っている。	
22.	家で身代以上のお金を持っている。	

○上記以外で、お子さまの様子に気になることがありましたらお書きください。

※ この表は「いじめ対応の手引き」(平成19年3月発行)の「子どものサイン発見チェックリスト」に修正を加えて平成30年10月に作成したものです。

子どものサイン発見
チェックリスト

あなたのまわりに悩んでいる仲間はいませんか？

いじめ匿名連絡サイト「スクールサイン」って？

「スクールサイン」とはスマホやパソコンからいつでも匿名で学校での困りごとやいじめの目撃情報などを学校へ連絡できるサイトです。

「スクールサイン」の使用方法

step1 スマホやパソコンから下記の二次元コード読み取り(またはURLを入力)「スクールサイン」にアクセスします。

step2 専用のフォームから自分の名前をいっさい名乗らずに心配な人のことや、自分の気持ちを投稿できます。

step3 投稿されたメッセージは、すべて専門業者が内容をチェックし、学校へ報告し対応します。

ひとりでも悩む仲間をひとりでも助けるために
勇気を出して投稿してみませんか？

スクールサイン
(高等部生徒)



一人でいるより みんなと話して
笑う方が楽しい

友達に 自分から 声をかける
それが 思いやり

「心のきずなを深める月間」
ポスター・標語作品

子どものサイン発見チェックリストや相談窓口一覧の配布、スクールサインの登録等を行い、自分に合った方法でSOSが出せるようにしました。

朝の会、帰りの会で「いじめ防止スローガン」を毎日確認し、「いじめを許さない学校、学級づくり」を目指しました。

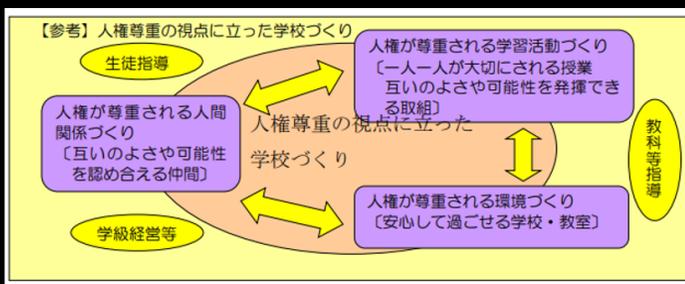
児童生徒同士の心のきずなを深め、いじめのない学校・学級づくりに対する意識を高めることを目指した授業実践を全学部で行いました。小学部では、「自分や友達のよいところや得意なところを知る」ことを目標とし、自分や友達の大切さについて考える授業実践を行いました。小・中学部はポスターに取り組み、高等部は標語に取り組みました。

令和5年度いじめ防止の取組③ 職員研修

教職員のかかわり方

明るく丁寧な言葉

- ・教師自身が環境→発言内容や行動が大切



教職員のかかわり方

受けとめて聞く

- ・児童生徒の行動の背景には、本人の考えがある。
- ・行動の原因を探る。(理由、障がい特性等)
- ・本人なりの理由や障がい特性を基に、対応を考える。

→原因を確かめないままに指導をしないことが大切



かもいな基礎講座 (人権教育)

4月3日(初日)に特別支援教育1年目の職員、新転入職員等に向けて、かもいな基礎講座(人権教育)を行いました。

児童生徒の人権を大切にしたかかわり方について考え、意見交流を行いました。

いじめ防止職員研修①

(スクールロイヤー活用事業)

いじめ問題の初期対応や、丁寧で的確な対応の留意点等について教えていただきました。

説明不足による二次トラブル等を未然に防ぎ、適切な対応をすべての教職員ができるようになることを目的として、法律の専門家の活用により、事実確認の重要性と方法等、法的側面からのいじめ問題の対応を学びました。

いじめ防止職員研修②

各学部からの事例について、いじめ問題対応マニュアルを基にして初期対応について考え、意見交換を行いました。

人権を大切にした教職員のかかわり方 ～一緒に考えましょう～

個々の児童生徒の大切さを改めて強く自覚し、一人の人間として接していかなければならない。(第三次とりまとめより)

①近くの先生と話す

テーマ：かかわり方で大切にしていることや、大切にしたいこと

- (例) ・これまで出会ったすてきな先生
・うれしかったかかわり 等



②話したことを紹介する

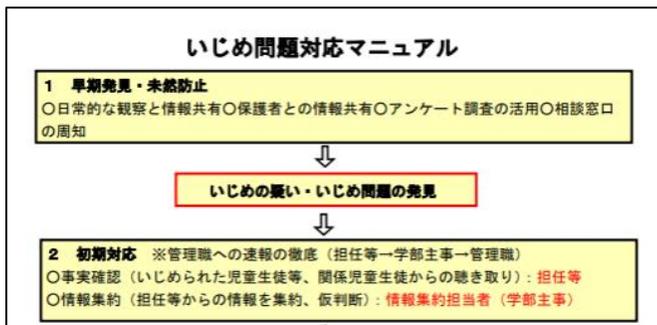
みんなで共有し、実践に活かしましょう。

令和5年度いじめ防止の取組④ いじめ防止対策委員会

いじめ問題対応マニュアルの共通理解

「いつもと違う」を見逃さない
児童生徒の様子の情報共有、事案の審議

人権教育、特別の教科道徳の授業の共通理解



SOSの出し方教育、相談窓口の周知等の取組の情報共有

熊本県電話相談窓口一覧（令和5年度版）

★ 児童・生徒の皆さんへ
困っていることや悩んでいること、ありませんか？ 困っていることや悩んでいることがあったら、まずは、担任の先生や保健室の先生、おうちの人に、お話を聞いてもらいましょう。それでも、解決しないときには、下の相談電話でお話を聞いてもらうことができます。特に「熊本県24時間子供SOSダイヤル」は、昼も夜もお話を聞いてもらうことができます。

★ 保護者の皆さんへ
お子さんのことで、お悩みのことがありましたら、どんなことでも結構ですので、早めに学校にご相談ください。学校では、心理の専門家としての「スクールカウンセラー」の活用も可能です。また、県内の各教育事務所においても、相談を受け付けています。さらに、市町村立学校に通っておられる子どもさんのことについては、各市町村教育委員会にも相談できます。

(1) いじめ問題や子供のSOS全般

相談機関名	相談時間等	電話番号
熊本県24時間子供SOSダイヤル	24時間	0120-0-78310(無料) ※6.PHONEは英語も対応



道徳「ふわふわ ちくちく」

友達から言われて嫌な言葉や嬉しい言葉について考える活動

ふわふわ	ちくちく	ふわふわ	ちくちく
あま	やめろ	ありがとう	きらい

道徳「SOSの出し方」

ねらい：自分の悩みや困っていることを伝える方法を知ること

1年を通してSC体験の実施
2学期にはSCの先生に各学年の実態に合わせた講話をしていただく予定。

学期毎に1回ずつ、年3回実施しました。

いじめの問題の迅速な初期対応等の確認や、各学部の事案や取組についての外部専門家による助言を受けました。

いじめ防止、解決は学校における最優先課題です。

いじめの早期発見と情報共有、適切な初動対応、客観的な事実確認、対応方針の決定と説明等の対応を行います。

安全・安心で優しい教育環境づくりを職員一丸となって行います。

昨年度に引き続き、今年度のいじめの認知件数は現時点で0件です。

「いじめはどの学校でも起こりうる」ことを肝に銘じ、いじめ防止に最大限力を注ぎ、丁寧な初期対応を全職員で行っていきます。